

第24期（平成25年）の事業報告書  
（平成25年4月1日から平成26年3月31日まで）

1. 自転車に関する調査分析

毎年「調査分析テーマ」を決め、9月にその前の年度の調査分析結果発表会を館内で開催し、結果を館内図書室で公開します。

今年度は、同志社大学の西先生に「日本とドイツにおける自転車工業の産業組織に関する比較 1890年－1930年」を100万円でご依頼します。

平成25年度の実績：昨年11月20日に当ホールで、西先生に「日独自転車産業の比較発展史 1890－1930」の題名で調査分析結果の中間発表をしていただきました。

2. 自転車に関する普及啓発

(1) より多くの市民に、自転車に乗ることで楽しさを実感し、自転車の有効性を理解・認知してもらうことによって自転車志向を高めていきます。

- |                                 |        |
|---------------------------------|--------|
| ① マウンテンバイクツーリング                 | 年間4回実施 |
| ② ロードバイクスクール（ロードバイクの初心者スクール）    | 年間4回実施 |
| ③ 自転車ライフ体験セミナー（スポーツバイク取り扱いセミナー） | 年間4回実施 |
| ④ 自転車散歩：10km程度を楽しみながら走行         | 毎月1回実施 |
| ⑤ 健康サイクリング：20－30kmを健康のために走行     | 毎月1回実施 |
| ⑥ ファンクラブの後援 サイクリング中級者向けイベント開催   | 毎月2回実施 |

平成25年度の実績：計画通り実施しました。合計で664名の方が参加されました。

(2) 各種セミナーに出席して情報を収集します。

平成25年度の実績：計画通り実施しました。

(3) 各種講演・執筆活動で自転車の有効活用を発信します。特に今年度は、メタボ予防・改善講座を年間3回実施します。

平成25年度の実績：堺観光ボランティア協会のメンバーの方を対象にした講演をはじめ、数多くのメディアからの取材にも対応しました。

(4) シマノの2億円の寄付で作られた「堺市環境共生まちづくり企画運営委員会」の副委員長に自転車博物館サイクルセンター事務局長 長谷部雅幸氏が就任し、引き続き活動していきます。また、その下部組織の「堺自転車のまちづくり・市民の会」に参加して、自転車利用マナー向上活動並びに自転車のまちづくりに協力します。

平成25年度の実績：自転車安全利用街頭啓発活動や市民の会の会合にも定期的に参加しました。

- (5) 関西サイクル・スポーツセンターの展示に協力  
関西サイクル・スポーツセンター内の啓発展示室に自転車（オーディナリー他）  
6台を継続して貸出します。

平成25年度の実績：計画通り実施しました。

- (6) 堺市内小学校を対象とした、自転車安全教育活動の支援をします。

平成25年度の実績：支援活動として、小学校へ自転車の貸出しを行い、自転車に乗って行う安全教室の運営に協力しました。今年は3校から要請があり、2校に合計28台の自転車貸出しを行いました。（1校は雨で中止）

- (7) 堺市内の支援学校を対象とした、自転車乗り方教室を実施します。

平成25年度の実績：百舌鳥支援学校と上神谷支援学校に出向き、それぞれ月2回、校庭で自転車乗り方教室を実施しました。合計で316名の方が参加されました。

### 3. 自転車博物館サイクルセンターの運営

- (1) クラシック自転車等の収集・収蔵・展示  
常設展示として、自転車発展の歴史を展示します。

平成25年度の実績：計画通り実施しました。年間29,979名の方が入館されました。

- (2) 特別展「オランダ社会に於ける自転車」展を4月1日より1年間行います。  
世界で最も進んだオランダの自転車利用社会を紹介し、自転車の楽しみ方、マナー、利用上の注意点等の啓発を行います。

平成25年度の実績：計画通り実施しました。

- (3) 当館の収蔵する自転車、部品、用品、資料の整理とデータ蓄積を引き続き行います。また、図録の電子化も行っています。

平成25年度の実績：資料等の整理については計画通り実施しました。また、図録の電子化に向けてデータの整備を行いました。

- (4) 第22回夏休みこども絵画コンクールの実施  
昨年は応募作品が38,116点でした。絵を描くことによって自転車のしくみを理解すると同時に、自転車の社会的役割を思考する機会を提供するために、次世代を担う子供達の応募継続に取り組みます。

平成25年度の実績：平成25年度は対前年並みの37,905点の応募がありました。

- (5) 平成17年から3年間協力したキャリア教育プロジェクト「こんな自転車欲しかったん」を受継いで、博物館主催の自転車企画コンテストを、平成20年に開始し今年も引き続き実施します。

平成25年度の実績：平成25年度は1,491点の応募がありました。

- (6) 手作りおもちゃ教室（毎月1回）：博物館を会場として開催することで、地域住民の方々に少しでも自転車への理解や関心を深めていただくことを目的に行います。

平成25年度の実績：計画通り実施しました。年間714名の参加がありました。

- (7) 各地の自転車展示館、関係団体との交流を通し、自転車情報の収集を行います。

平成25年度の実績：計画通り実施しました。

- (8) 文化庁の呼びかけで「関西文化の日」として文化力による関西復興の呼びかけがあり、11月16、17日に2日間無料開館を実施します。

平成25年度の実績：11月16、17日に無料入館を実施しました。

- (9) 5月19日（日）のツアー・オブ・ジャパン堺ステージが大仙公園周回コースで開催されるのを機に、自転車の普及啓発のため、博物館無料入館と自転車ひろばでのクラシック自転車レプリカの無料利用を実施します。

平成25年度の実績：5月19日に博物館の無料入館、自転車ひろばでの無料利用と合わせて、大仙公園内での出張展示も行いました。

- (10) 広報活動を充実させ、博物館の地域社会への貢献活動を社会に広めます。

平成25年度の実績：自転車博物館の活動内容を堺市、観光案内所等へ積極的に紹介しました。

#### 4. 自転車ひろばの運営

- (1) 自転車乗り方教室（初心者スクール）：毎週水・土曜日と毎月第1・3・5日曜日に実施します。

平成25年度の実績：応募者数が多いので、開催回数を増やして対応しました。  
また、今年度はNHKはじめ数多くのメディアから取材を受けました。

- (2) クラシック自転車レプリカ体験試乗：団体利用については予約をいただき、一般の方は毎月第2・4日曜日と祝日に実施します。

平成25年度の実績：春休み、ゴールデンウィーク期間中の実施回数を増やして多くの方に体験試乗していただきました。

- (3) 自転車の安全な乗り方教室：初心者スクール卒業生を対象として春と秋に各1回実施します。

平成25年度の実績：5月6日に128人の方に参加いただいて実施しました。  
その後、7月からは「子ども自転車安全教室と大仙公園サイクリング」に統合して実施しました。

- (4) 子ども自転車安全教室と大仙公園サイクリング：自転車に乗れる5歳から10歳までの子どもを対象として、交通安全講習と実技を行い、最後に全員で大仙公園内をサイクリングします。

平成25年度の実績：6月までは当財団の指導員による教室でしたが、7月からは堺警察署と合同で実施しました。

- (5) 自転車ひろばまつり：開設記念日に近い11月3日にクラシック自転車レプリカの無料利用を実施します。

平成25年度の実績：11月3日に実施しました。